

令和6年度 第2回 学校関係者評価委員会資料 (委員からの意見・感想等 集約要旨)

令和7年2月14日(金)

教員による自己評価について
○進路・就職に関する支援体制の整備については、大幅に点数が上昇しているように見えるが、何か新しい取り組みなどをされたのでしょうか？
○学校運営や施設に関しての評価平均が下がっている。平均以下ではないので、改善努力。
○教育活動・学修成果・学生支援の3点が高い評価となっている。先生方の自身の表れを感じます。
○学生が良い指導を受けていることがわかる結果だと思います。
○教育目標・理念については、「生徒・保護者に周知されているか」について昨年より低かったことで周知を広める工夫も必要だと思います。
○学校運営については、意思決定機能等、昨年より評価が良くなっている項目もあり教員に周知されていると思います。
○学生支援については、昨年より全体的に良くなっているので、学生も学びやすい環境になっていると思います。

学生による学校評価について
○施設・設備を充実することが、学生の評価と募集に直結する重要な項目だと考えます。
○評価が高い。職員と学生との関係性が良いと見える。
○全体的に評価がとても高く、楽しい充実した学生生活を送っていることが創造できます。
○学習支援については、昨年より全体的に平均点が高く、学校の学びやすい姿勢が学生に周知されていると思います。
○生活支援については、健康管理や学生からの相談に適切に応じており、2年生より1年生の評価が良かったのは丁寧な指導がされていた事が良かったのではと思います。

全体について
○点数が何段階なのか、アンケートの回数はどれくらいなのか、記載いただくと見やすく助かります。
○学生からの高評価は、素晴らしい。満足度が高い。
○職員からの評価は厳しめであるが、それは当たり前の反応。しっかりと受け止めます。
○地域貢献について、地域と学校の連携は難しいですね。町内会としても、行事の縮小など活動が少なくなっています。人手不足、人材不足の問題があります。
○教員による自己評価は昨年と平均点では変わらなかったと思いますが、教育活動や学修成果、学生支援等、日々継続して見守っている姿勢が伺われます。
○地域貢献については、福祉保育推進室ができたことで、施設を利用して様々なイベントが開催されました。 地域の子ども達も千葉女子専門学校の地域貢献活動に楽しんで参加し、また、初谷さんを中心に学生ボランティアや同窓会も加わり良い活動につながったと思います。